

スタジオについて

DAiLY tous les jours (デイリー・トゥレジュール) は、パブリックスペースでの集団体験を創造します。2010年に創設され、モントリオールを拠点とする当スタジオは、人々が街を変えていくうえで重要な役割を果たせる機会をもたらします。私たちの作品は、テクノロジー、デジタルアート、パフォーマンス、ストーリーテリング、プレイスメイキングを融合します。

デイリー・トゥレジュールの作品は国際的な評価を得ており、IXDA Interaction Awards 大賞、UNESCO Shenzhen Design Awards大賞、Knight Cities Challenge for Civic Innovation、Fast Company Innovation by Design Award、Americans for the Arts Public Art Network Awardなど数々の賞を受賞しています。また当スタジオはデザインとデジタルアートのコミュニティで積極的に活動しており、世界各地で開催される SXSW、EYEO、INST-INT、Power Talk、New Cities Summit、TEDx、Ars Electronicaなどで講演、ワークショップを行っています。



作品

Musical Swings (ミュージカルブランコ)

Giant Sing Along (大合唱)

Musical Shadows (ミュージカル影)

We Can Dance (みんなでダンス)

Hello Trees! (ハローツリーズ)

Musical Swings (ミュージカルブランコ)



PHOTO BY CRUCHY CREATIVE



運動と連携から生まれる音楽

2011年開始の常設・巡回インスタレーション-カナダ(モントリオール)および米国(ニューヨークシティー、デトロイト、サンノゼ、ウェストパームビーチ、コロラド)

(ミュージカルブランコ)は、パブリックスペースで人と人とのつながりを促す都市規模のインタラクティブなインスタレーションです。集団体験のための巨大な楽器をイメージして作られた同作品は、あらゆる年齢や立場の人々が一緒になって音楽を奏でる機会を提供しています。参加者同士が協力して秘密のメロディを解き放ち、人とのコラボレーションと他者への認識を促す直観的な遊びです。

2011年に制作された同作品は、モントリオールのダウンタウン内にあるエンターテインメント地区で評判のスポットとなっており、季節限定で毎年春に設置されています。この成功を受けて制作された巡回版のMusical Swingsは世界各地を巡り、数々の国際的な賞や評価を受けています。

また、新しい常設版も世界の複数の都市で設置されています。

「生きた芸術作品」
オプラ・ウィンフリー

[Musical Swingsの詳細はこちら](#)



Giant Sing Along (大合唱)





屋外の集団カラオケ

2011年制作の巡回インスタレーション -
米国ミネソタ州およびオーストラリア・ゴールドコースト

スタジアムやキャンプファイヤー、または合唱団など、その場所と形態を問わず、大勢の人と歌いハーモニーを奏でることは共通の感情を表現する手段の一つです。美しい歌声以上に、一緒に歌うことの喜びが沸き起こります。

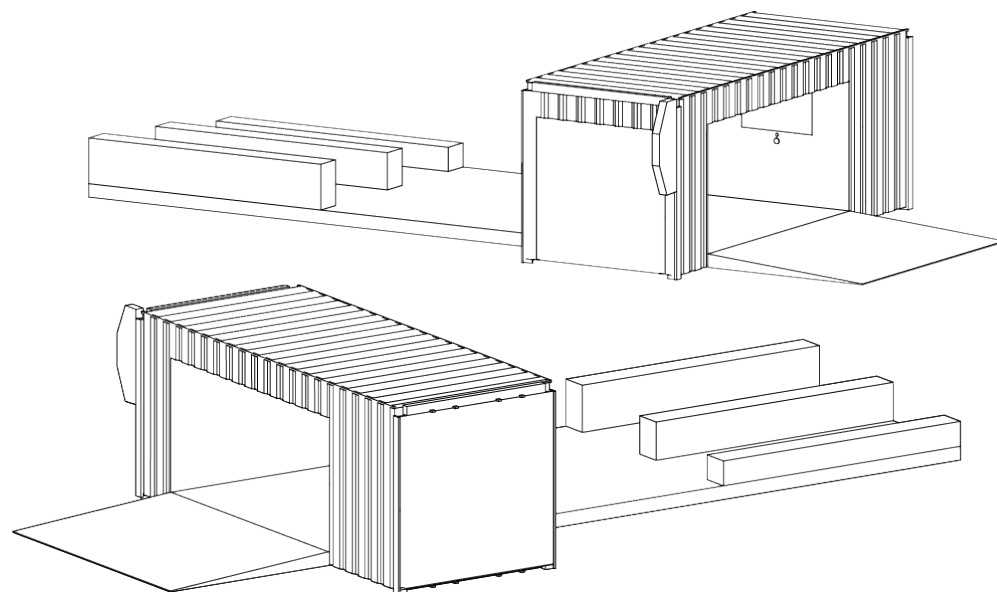
Giant Sing Along (大合唱) は、人々がカラオケスタイルで心の底から歌い、音楽を集団で楽しめるアトラクションです。

[Giant Sing Alongの詳細はこちら](#)



We Can Dance (みんなでダンス)





都会の壁の上でダンス

2019年制作の巡回インスタレーション-カナダ(モントリオール、オタワ)、米国(ニューヨーク、インディアナポリス)、およびシンガポール

We Can Dance(みんなでダンス)は、人々がダンスでストリートの主役になれる、大規模な振り付けプロジェクトです。参加者は目の前の画面を見ながら振り付けをまねて踊るダンサーになり、そのダンスは建物の壁に大きく映し出されます。

この集団体験のアトラクションは世界各地を巡っています。デイリー・トゥレジュールはその先々で、現地の振付師たちと協力して、オリジナルのダンスを生み出すことを楽しみにしています。

[We Can Danceの詳細はこちら](#)







木々と会話するプロムナード

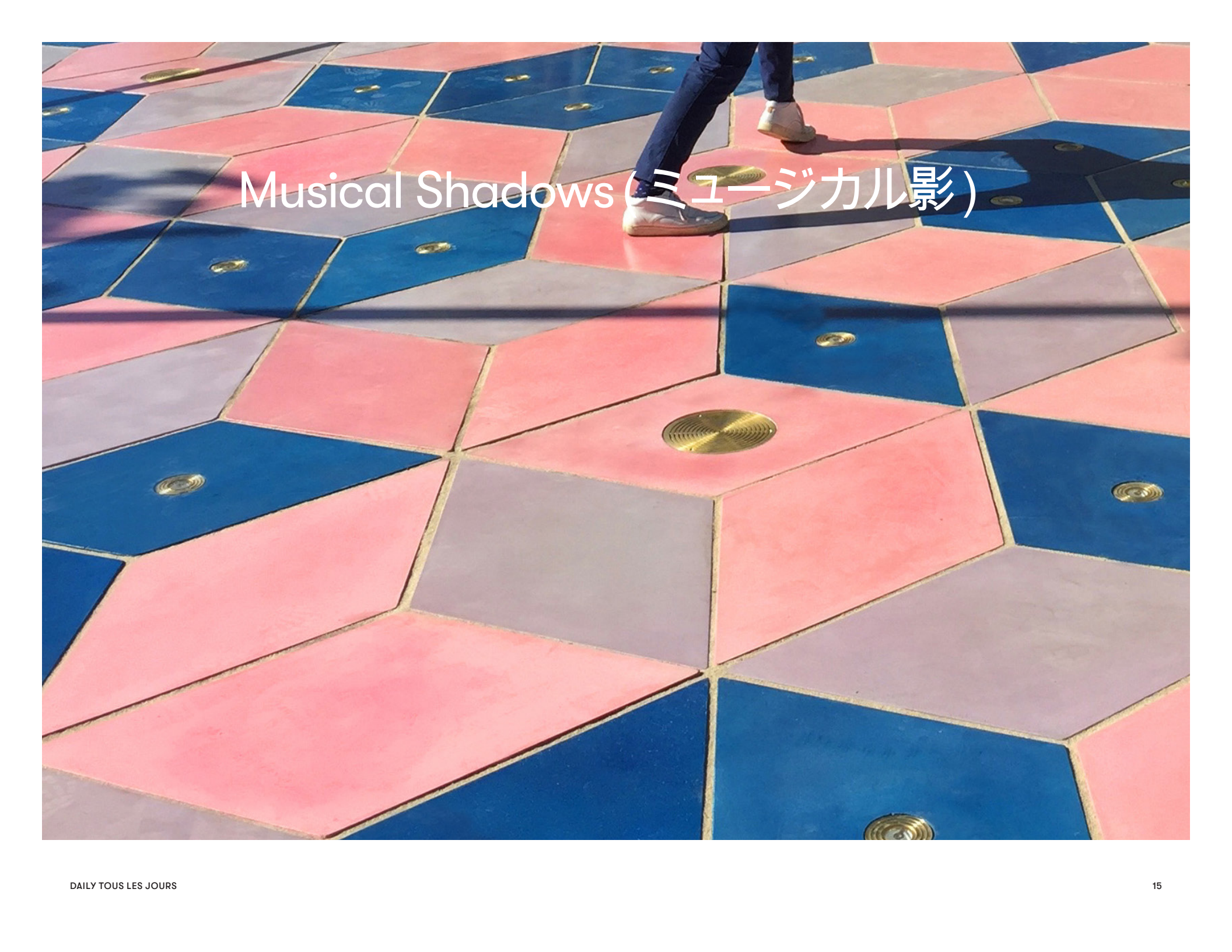
2017年制作の巡回インスタレーション -
米国ヒューストン

木々は空中に浮遊する微小粒子や根を通して秘密のコミュニケーションを取っていることが、研究で明らかになっています。森林では、この神秘的なおしゃべりによって木々がお互いに助け合い、究極的には生き残ることができるのです。

人には感知できないこの意思疎通にヒントを得たHello Trees! (ハローツリーズ) は、人々と木々のための詩的なメッセージボードです。この感覚的な散歩道では、周囲を見回しながら自然を感じることができます。

[Hello Trees!の詳細](#)



A photograph of a person's legs and feet walking on a floor made of large, colorful geometric tiles in shades of pink, blue, and grey. Each tile has a small, circular, gold-colored musical note or speaker-like symbol in the center. The person is wearing dark blue pants and white sneakers. The text "Musical Shadows (ミュージカル影)" is overlaid in white on the image.

Musical Shadows (ミュージカル影)



自分たちの影と踊る

2016年制作の常設インスタレーション -
米国コロラド州、アラブ首長国連邦ドバイ

世界の非常に暖かい地域では、太陽が暮らしのペースを支配しています。灼熱のコンクリートのため都会が非常に住みにくい状態になってしまった時、パブリックスペースで優先されるのは日陰です。Musical Shadows (ミュージカル影) は光と影を利用して、どのような気候であれ、別のタイプのアーバンライフが可能であることを示します。

日当たりの良い屋外向けのこのインスタレーションは、光で音を奏でるインタラクティブな舗装です。通りがかった人たちは、自分たちの影がどのように音を鳴らすのかを探り、人前で体全体を使って自分を表現することができます。

Musical Shadowsのプロトタイプは大阪で開催されたArs Electronica (アルスエレクトロニカ) の展覧会で展示されました。このイベントについての詳細は[こちらをご覧ください](#)。

[Musical Shadowsの詳細はこちら](#)



デイリー・トゥレジュールの詳細はこちら

すべてのプロジェクトを見る

お問い合わせ先